

式 辞

暖冬とはいえ、冬の寒さに身を縮めていた草木が、春風に乗って一斉に芽吹き始めています。桜も満開になりました。今年の四月は、いつにない特別な四月、新しい時代、「令和」を迎える四月です。まさに、新しい時代の到来を感じる今日のこの佳き日に、ご来賓として本校PTAの加藤光顕会長様をはじめ、PTA役員の方々、そして新入生の保護者の皆様に御列席を賜り、平成三十一年度、福井県立高志高等学校の入学式を挙行できますことは、新入生はもとより私たち教職員にとりましても、大きな喜びであります。心から厚くお礼を申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました249名の新入生のみなさん、入学おめでとう。

今日まで皆さんを育ててくださったご家族、小・中の先生方、地域の方々への感謝と、今日の感激を忘れないで、高校での3年間で過ごしてください。

さて、ここに集う皆さんは、ある人は自らの意志で高志高校を選び、厳しい高校入試を見事に突破した人であり、また、ある人は、小学校6年生のときに、地元の中学校に入学することを選ばずに、これまた厳しい適性検査を経て、高志中学校に入学し、そして、高志高校に進学した人であります。

どのような経路をとったにせよ、今日から県内唯一の併設型中高一貫校である、高志高校での、新たな高校生活が始まります。

高志高校は、平成の前の時代、昭和23年（1948年）に、前身の福井県立第二高等学校として開校して以来、これまでに2万9000人以上の卒業生が巣立ち、県内はもとより国内外の様々な分野で活躍しています。

「昭和」から「平成」、そして、「令和」へと時代は変わっていきますが、「克己・創造・敬愛」の校訓のもと、「国際社会および地域社会のリーダーとして貢献できる、知徳体の調和のとれた人材を育成する」という、一貫して変わらない教育方針に沿って、さまざまな教育活動を展開している進学校です。

誰が言い始めたか、わかりませんが、高志高校には、「活気がある」、「革新的・先進性がある」等のイメージがあるようです。

校歌の歌いだしにある「みどり葉」のように、春のおとずれとともに葉を实らせ、やがてくる開花の季節に向けてエネルギーを漲らせる、そのようなエネルギーに満ちた校風が、生徒諸君にも、教員集団にも感じられます。

そうした校風が、県内初のスーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクールの研究指定、併設型中高一貫教育の導入を可能にしたのではないかと考えています。

高志高校では、中学校から進学した「内進生」と、高校から入学した「高入生」が、学習、部活動、学校行事等で、切磋琢磨しながら高校生活を過ごしています。また、最大年齢差5歳の中学生と高校生が、同じ校舎で学び、同じ校訓、校章、校歌で心をつなげて、一方で、刺激を受けたり、与えたりしながら、高校生活を過ごしています。

年齢や成長の過程の異なる高校生と中学生が、多面的で幅広い経験や考え方を交わらせながら学ぶ高校は、本県の県立学校では高志以外にありません。

高校での3年間の時の流れは、高校で出会った友人は、きっと、皆さんの人生の財産になるものと確信しています。

入学にあたり、皆さんに心に留めてほしいことを、一つだけ、お話しします。

それは、「社会の出来事に関心を持ち、将来、自分が社会の中でやりたいことを具体的にイメージしてほしい。」ということです。

令和5年に、北陸新幹線が敦賀まで伸びてきます。人の行き来が活発になり、福井の産業が様変わりする可能性があります。新幹線が福井県内を走っている頃、皆さんは高志高校を卒業しています。そのとき、皆さんは、どこで何をしていますでしょうか。

AIが、人間ができる仕事の一部を肩代わりし、人が運転しない自動車が公道を走る世の中が、近い将来やって来ます。その頃の人々の暮らし、例えば、食生活やファッション、電化製品やコンピュータとの接し方、商品の流通やお金のやり取りは、確実に今とは変わったものになっているでしょう。そのとき、皆さんは、どこで何をしていますでしょうか。

日々の生活が劇的に変化することはないかもしれませんが、社会は確実に変化し続け、ふと気がつくと、大きな変化を遂げていたということになるはずです。社会の変化に流されないためには、自分は何がしたいのかということ、自分が知っていることが重要です。

途中で変わっても構いません。自分が社会の中でやりたいことを、常に考え続け、実際に言葉にしてみるようにしてください。

世の中は、世界は、君たちの活躍を待っています。むしろ、君たちの方が、社会を変革する側になりましょう。

さて、遅くなりましたが、ご列席くださいました保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。

本校の教職員は、県内外から注目を集める高校に勤務する者として、意欲と使命感をもって、教育活動を担ってまいります。お子様が志す進路の実現に向けて、一丸となって努力いたします。学習に困難を伴う生徒、様々な活動に積極的にチャレンジしようとする生徒に対して、手厚く支援を続けてまいります。

保護者の皆様には、ぜひ、本校の教職員を信頼していただき、本校の教育活動に、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げまして、式辞といたします。

平成31年4月8日

福井県立高志高等学校長 吉田 繁